

「即戦力の新人」寒河江市議会議員

渡辺けんいち議会レポート

社会新報

12◆1

〔火曜日〕号外
週刊(水曜日発行)

発行所

社会民主党全国連合
機関紙宣伝局

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
永田町ビル7F
電話代表03(3592)7515・編集部00140-1-3203
●定価180円●1カ月700円●送料160円

主な役職

- ・総務産業常任委員会副委員長
- ・西村山広域行政事務組合議会議員
- ・市議会スポーツ議員連盟事務局長
- ・社会民主党県連合常任幹事兼支部幹事
- ・連合北西村山地域協議会事務局次長兼協力議員
- ・さがえ西村山農業協同組合地区総代
- ・寒河江西村山ジュニアアスリートコーチ
- ・さがえ走友倶楽部事務局



人と生命輝く温かい市政の実現

ごあいさつ

愛称「なべけん」こと 渡辺けんいち寒河江市議会議員の議会活動報告をお届けします。6月定例会と9月定例会の一般質問などで、市民の皆様から頂いた切実なご意見をもとに発言してまいりました。安倍政権が強硬に進めている「戦争する国づくり」にストップをかけ、誰もが安全で安心して暮らせる平和な社会を守り、いきいきと働き続けられるよう地域産業を振興していくことが求められています。今後とも、皆様の即戦力となって邁進する決意でありますので、ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

『「戦争法」に反対する請願』が保守系会派の反対により否決

「戦争法」に反対する請願の賛成討論

まず御報告ですが、けさ朝一番に市の議会事務局のほうに市の遺族会の会長さんが来られて、きょうの議会に向けての激励と、平和について訴えがございましたので、御報告をさせていただきます。御報告をさせていただきます。御報告をさせていただきます。

初めに、政府は今国会に国際平和支援法案と平和安全法制整備法案の2法案、今まさに国会で議論されているわけですが、平和と安全というのは全くの名ばかりで、今回の自衛隊法改正を含めて10法案を一括したような議案も含まれて出されているという、これはまさに憲法改悪に向けた暴走と言わざるを得ないと思っております。さて、

去る6月5日は旧暦の端午の節句でありまして、市役所前には柴橋の渋谷さんの手染めのこいのぼりが悠々と青空を泳いでおりました。この日、総務産業常任委員会でこの戦争法に反対する請願を多数決の結果、不採択になってしまいました。私はこの日、戦争法案2法案については明確に反対すべきであるという立場ですが、残念ながら戦争法に賛成の方が多数を占めたというところ、しかも常任委員会で戦争法に賛成の意見の理由もなく、聞くこともなく多数決が行われたということは、非常に憤りを禁じ得ませんでした。この日の

夜は怒りとショックで眠れませんでした。この法案が成立することになれば、日本は戦後70年間平和憲法のもと自衛隊の隊員一人の戦争犠牲者も出さなかった歴史にピリオドを打つとともに、憲法9条の精神を根本からねじ曲げ、戦争の根元から大転換することになります。具体的には、市民の平和な暮らしを脅かす戦争への道を突き進む、すくすく育った寒河江っ子たちを近い将来戦場に送るということになります。その理由をさらに述べたいと思います。本市の歴史とこれまでの歩みということであれば、本市は戦後40年の節目を前に平和都市宣言を制定し、1984年当時からこの30年間、さまざまな形で平和行政を推進してこられました。武田市長時代のこの年に降に植樹した桜の丘の桜もその記念樹的な財産でありまして、平和な地域社会の象徴、いわばシンボルツリーとして市民に愛されてきました。昨年、市制60周年のツツジの記念植樹も相通するものがあると思っております。また毎年大みそかに打ち上げられる慈恵寺の花火も、全世界の恒久平和の願いを込めたものであり、平和を愛する市民の心に響いているわけでありまして。また、最近では民間の調査機関である「地域生活ガイド.com」という会社で調査したところ、本市は「住みたいまちランキング」東北では第3位、全国でも89位という上位にランクされているくらい注目されているわけでありまして。こうした努力も無くなってしまいました。また、昨年の6月議会で遠藤議員の質問に對し、佐藤市長が御答弁されておりました。その中で御紹介していただきましたが、私の地元で、かつ母校でもある西根小学校と県立寒河江高等学校のこれまでの実績でございます。まず12年前、西根小学校創立100周年のときは、地域の方々や貴重な昔話をお話しされ、これを拝聴し、戦前戦後の動きも編さん、記録する形で、多くの方々の御協力によって100周年の記念誌を発刊することができたというふうに思っております。また、9年前、県立寒河江高等学校の修学旅行の訪問地の選択で、研修先が原爆投下の爆心地広島に決定するときに、ちょうどPTAの役員でありましたので、保護者の御意見をまとめさせていただきまして、そうした学校や地域におけるさまざまな取り組みの積み上げによって、子供たちへ生きた平和教育が行われてきたと確信しているわけでありまして。この間、学習指導要綱の道德教育における愛国心のみならず、敗戦後に多くの先人たちの犠牲や血のにじむ苦勞により奇跡的に経済発展を遂げ

てきたことや、世界の国々と仲よくして、本市ではさくらんぼを通じてトルコのギレスン市初め、隣国韓国の安東市など姉妹都市の盟約締結など、平和友好のきずなが育まれてきたのだと実感しているわけでありまして。戦後70年の節目に戦争法に賛成することは、私は子や孫に取り返しつかないことをする大罪であると思っております。むしろ戦争の過ちや悲劇を二度と繰り返さないため、戦争体験者から史実をお聞きしながら、小学生や中学生、そしてこれから18歳で参政権を得ることになる高校生向けに丁寧な語り継ぐことがますます重要になってきていると思っております。

これは90歳を超える大先輩から拝聴したことです。突然の空襲により逃げ場を失ったり、近くの山に防空壕を掘って、命からがら逃げたことや、長岡山が食料確保のために大根畑になったことや、アカマツの松やにをゼロ戦の燃料にしたことなど、後世に語り継ぐことが戦争で命を落とされた先人への供養でもあるというふうに思っています。さきの大戦の惨禍におけるとうとう犠牲の上に、日本国民は憲法前文で政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように決意すると宣言しています。そして、憲法第9条で政府に戦争を起すことを禁止し、戦場において誰も死なず、誰も殺さない70年の歴史を

これまで歩んできたわけでありまして。今この憲法の平和主義の原則を変える必要は何もないと思っております。また、6月4日の衆議院憲法審査会におきまして、3人の与野党選出の参考人憲法学者から全て今回の集団的自衛権の行使容認、武力で他国を守るといような行為は違憲だと断じたことと、まさにこの法案の根幹が揺らいでいることは明らかであります。憲法学者が憲法上多くの問題点をはらむ安保関連法案を国会は速やかに廃案にすることを求めているわけでありまして。さらに、自衛隊員がこれまでPKO活動など海外派遣されて、5年間で54名の自殺者が出ていることもニュースで報道されておりまして、そうした面からも本当に生きて帰ってきてもメンタル面でそうした状況になっていくという、そういう厳しいことを私は訴えたいと思っております。

議員の皆さん、改めてこの戦争法案の廃案、そして昨年7月1日の閣議決定及び新日米ガイドラインの撤回こそが寒河江市民の声であります。戦争体験者の叫びでもあります。このことを強く訴えさせていただきます。『夢集い人・緑輝くさくらんぼの都市(まち)』に全くそぐわないこの戦争法については廃案にする、この請願に賛成を訴えましたが、採決の結果、残念ながら反対多数で否決されました。

議会本会議一般質問

はじめに

初めに、市長への手紙や住民アンケートなどによる市民本位の佐藤市長2期目、市長初め執行部の方々の御奮闘に心より敬意を表したいと思います。2月から市民の皆さんとの対話を通じて多くのことをお聞きしてまいりました。特に多かつたのが議員数の削減により、議会と市民の皆さんの距離がますます広がったとの声であります。議員は誰がなっても同じだという厳しい声もございました。そうした声にも謙虚に耳を傾け、その乖離を少しでも小さくするため、新人議員ではありませんが、これまでの行政経験と地域活動で育てていただいたお力で、即戦力となるよう頑張っていく決意であります。

また、5月の連休以降、テレビ東京制作の「パッチリゼミナール」本市のさくらんぼのPR番組制作に協力してきました。7月15日のゴールデンアワーに全国にオンエアされ、本県では8月15日に放映されました。市民の小学生からお年寄りまで、多くの方々が協力して出演され、さくらんぼの特産地に適した地形、気候、本市出身の「井上勲兵衛氏」はじめ偉大な先人たちの苦勞、「おしん」に象徴される忍耐強い県民性など地理、歴史、農業、社会全般について科学的に研究分析した特別番組です。ぜひ、小中学校や公民館などで活用していただきたいと思います。

1 未来創成戦略とさくらんぼの独自の観光・農業の振興策について

NHKのご自慢、そして観光さくらんぼ園のオープンをセレクトも行われ、本格的なさくらんぼシーズン

の到来となりました。先日開催された未来創成戦略外部有識者会議の資料と具体のデータを踏まえ、未来創



○渡辺けんいち議員
原発事故の影響で、現在も福島からの避難が続いているわけ

成戦略とさくらんぼの独自の観光・農業の振興策についてお尋ねしたいと思

います。●原発事故による風評被害対策及びTPP対策の現状について

東日本大震災及び福島第一原発事故による避難とい

うことでもあり、現在でも県内には5月14日現在3,982人

が避難している状況です。寒河江市におきましては、震災発生直後から「絆！元気！寒河江」推進

本部というところで、全庁的な体制をつくって現在まで避難者支援、それから市内の放射線量の測定などの対

応を続けていくところであり、お尋ねの風評被害の損害賠償請求の件についても、これまで寒河江市としては給食あるいは水道水にかかわる放射能物質検査の費用などについて、それからA、農協のほうでは牛肉に係る価格の下落分、あるいは検査費用などについて、そして御指摘がありました観光のほうについては周年観光農業推進協議会

はまだ被害が続いていると思

っています。市内の観光業、農業の風評被害について、これからのまだ影響を受けていくと思

います。●損害賠償請求を国と東京電力に対して県と一緒に

な状況になってきており、明確にこれについては市長として反対を表明すべきで

ないかというふうに認識しているところであり、

これまで申しあげてまいりましたが、TPPについては産業分野、それから地域経済に大変大きな影響を及ぼすということであり、

それで、国民、そして市民に対して十分な情報提供と説明が必要であろうというふうに思います。その内容が一般市民に対して悪影響が出ないように国において万全な対応が求められているところであり、

今議会に向けて、市民の皆さんから、団体の皆さんからも

TPP（環太平洋経済連携協定）の参加についてです。

平成25年4月に国会決議が行われているわけですが、

これが今遵守されないような状況になってきており、

明確にこれについては市長として反対を表明すべきです。

●佐藤洋樹市長
東日本大震災及び福島第一原発事故による避難とい

うことでもあり、現在でも県内には5月14日現在3,982人が避難している状況です。寒河江市におきましては、震災発生直後から「絆！元気！寒河江」推進本部というところで、全庁的な体制をつくって現在まで避難者支援、それから市内の放射線量の測定などの対

応を続けていくところであり、お尋ねの風評被害の損害賠償請求の件についても、これまで寒河江市としては給食あるいは水道水にかかわる放射能物質検査の費用などについて、それからA、農協のほうでは牛肉に係る価格の下落分、あるいは検査費用などについて、そして御指摘がありました観光のほうについては周年観光農業推進協議会

はまだ被害が続いていると思

っています。市内の観光業、農業の風評被害について、これからのまだ影響を受けていくと思

います。●損害賠償請求を国と東京電力に対して県と一緒に

な状況になってきており、明確にこれについては市長として反対を表明すべきで

ないかというふうに認識しているところであり、

これまで申しあげてまいりますが、TPPについては産業分野、それから地域経済に大変大きな影響を及ぼすということであり、

それで、国民、そして市民に対して十分な情報提供と説明が必要であろうというふうに思います。その内容が一般市民に対して悪影響が出ないように国において万全な対応が求められているところであり、

今議会に向けて、市民の皆さんから、団体の皆さんからも

TPP（環太平洋経済連携協定）の参加についてです。

平成25年4月に国会決議が行われているわけですが、

これが今遵守されないような状況になってきており、

明確にこれについては市長として反対を表明すべきです。

●佐藤洋樹市長
東日本大震災及び福島第一原発事故による避難とい

うことでもあり、現在でも県内には5月14日現在3,982人が避難している状況です。寒河江市におきましては、震災発生直後から「絆！元気！寒河江」推進本部というところで、全庁的な体制をつくって現在まで避難者支援、それから市内の放射線量の測定などの対

応を続けていくところであり、お尋ねの風評被害の損害賠償請求の件についても、これまで寒河江市としては給食あるいは水道水にかかわる放射能物質検査の費用などについて、それからA、農協のほうでは牛肉に係る価格の下落分、あるいは検査費用などについて、そして御指摘がありました観光のほうについては周年観光農業推進協議会

はまだ被害が続いていると思

っています。市内の観光業、農業の風評被害について、これからのまだ影響を受けていくと思

います。●損害賠償請求を国と東京電力に対して県と一緒に

な状況になってきており、明確にこれについては市長として反対を表明すべきで

ないかというふうに認識しているところであり、

これまで申しあげてまいりますが、TPPについては産業分野、それから地域経済に大変大きな影響を及ぼすということであり、

それで、国民、そして市民に対して十分な情報提供と説明が必要であろうというふうに思います。その内容が一般市民に対して悪影響が出ないように国において万全な対応が求められているところであり、

今議会に向けて、市民の皆さんから、団体の皆さんからも

TPP（環太平洋経済連携協定）の参加についてです。

平成25年4月に国会決議が行われているわけですが、

これが今遵守されないような状況になってきており、

明確にこれについては市長として反対を表明すべきです。

り上がって、その歴史が身近に広報・宣伝されて、新たな観光客誘致にもつながっているものというふうに思います。今後こうした若い方々の斬新なアイデアなども十分取り入れながら、寒河江らしいオンリーワンのまちづくりというものを進めていく必要があるというふうにも思います。御指摘の点なども含めて、さらにイメージアップ、交流人口の拡大に向けて積極的に取り組んでいきたいというふうに考えております。

○渡辺けんいち議員

もう一つが全国規模での広報、宣伝、情報発信という点で言いますと、もっと観光業と農家のコラボの商品を売り出しているかどうかという御提案をしたいと思えます。例えば市内の温泉旅館宿泊と朝摘みさくらんぼ、非常に今、脚光を浴びているわけですけれども、そうした朝摘みさくらんぼ狩りなどのプレミアム限定セット商品と称して、寒河江でしか味わえないような、そういういったものもいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

●佐藤洋樹市長

朝摘みさくらんぼについては、昨年デザインেশヨンキャンペーンなどでも大きく取り上げられ、話題になったわけでありましたけれども、その背景には朝摘みのさくらんぼは新鮮でおいしいところもあって、また宿泊と結びついて滞在時間が長くなるということ、非常に効果的ではないかということがあった

ようでありませんが、寒河江市においては聞きをするに既に平成18年ごろから市内の宿泊施設において慈恵寺、田沢川の蜷観賞ツアーとセットの朝摘みさくらんぼ狩りを実施していたというところがあります。佐藤錦の収穫時期と蜷観賞の時期がマッチングすることから、6月中旬から7月上旬のシーズン中にはツアーバス10台相当の観光客の宿泊の実績があったというふうにも聞いています。そこら辺はこれから配慮をしていかなければならぬというふうにも思っています。また信号機と横断歩道というものは市が設置するわけにもいきませんが、公安委員会が設置するということになります。特に信号機などについては交差点において相互対象道路のそれぞれ入れ込む車の数というのが1時間当たり300台以上ないとなかなか信号機をつけられないというふうな基準があるというふうにも思っています。もちろん112号は300台以上なんです、その入り込む道路がそうならないというふうな御指摘を受けています。また、横断歩道については信号機のような基準はないけれども、必要性、安全性などを総合的に判断して設置をしていくんだというふうなお話でありました。そういう意味で、我々も現時点ではなかなか難しいというふうな感触を持ったところでございます。また、観光案内板については、現在道の駅正面の112号と市道の交差点の西側

○渡辺けんいち議員

約四半世紀、25年ぐらい経過するのでしょうか、あのチェリーランドができて、国道112号線の信号あるいは横断歩道も設置されず、ここに来た観光客が危険な横断をしなければならぬというふうな現在なっています。特に高齢者の横断は非常に危険でありまして、せっかく朝日連峰、月山、葉山という大パノラマのビ

ュースポットである二の堰親水公園、遊歩道、水車小屋などへの案内板がほとんどなくて、観光客がよくわからずに迷子になっているケースが多々ございます。このことから、ぜひ信号機や横断歩道、観光案内板の設置等、観光客への安全・安心とおもてなしの環境整備を進めていくべきだと思います。いかがでしょうか。

●佐藤洋樹市長

御指摘の点、我々も非常にそこら辺はこれから配慮をしていかなければならぬというふうにも思っています。また信号機と横断歩道というものは市が設置するわけにもいきませんが、公安委員会が設置するということになります。特に信号機などについては交差点において相互対象道路のそれぞれ入れ込む車の数というのが1時間当たり300台以上ないとなかなか信号機をつけられないというふうな基準があるというふうにも思っています。もちろん112号は300台以上なんです、その入り込む道路がそうならないというふうな御指摘を受けています。また、横断歩道については信号機のような基準はないけれども、必要性、安全性などを総合的に判断して設置をしていくんだというふうなお話でありました。そういう意味で、我々も現時点ではなかなか難しいというふうな感触を持ったところでございます。また、観光案内板については、現在道の駅正面の112号と市道の交差点の西側

に二の堰親水公園の案内看板が1基配置されているところでありまして、なかなか見えないというふうなところもありますし、この二の堰親水公園というのは私も思いますが、大変優秀なと思います。大変いい観光資源というふうにも思っています。これからの誘客のためにも、あるいはにぎわいを創出していくためにも、案内看板などを設置するということについて意を用いていきたいというふうにも思っています。また信号機、さらには横断歩道などについても公安委員会のほうにもぜひ働きかけをしていって、何とか御理解をいただければなというふうにも思っています。ところであります。

○渡辺けんいち議員

地元の市民の皆さんからは、いろんなイベントがふるさと総合公園のほうに皆持っているというふうなことがありまして、そういった面にもぜひ御配慮いただきたいというふうにも思っています。ところであります。

ただながら、バランスのとれたイベントの開催をお願いしたいと思います。

●佐藤洋樹市長

県のほうでは今年度から新たに新品種の開発、それから国際宅配制度の構築、機械収穫の研究などを主な内容とする「さくらんぼ世界プロジェクト」というものを始動させるというところであります。お話を聞

ほかの県でも新たな品種の開発などをしていくわけがあります。青森県のホームページを見ますと、大玉でおいしいさくらんぼ新品種ジュノハート、これは紅秀峰とアメリカカンチェリーをかけ合わせたんですね。この7月ごろからデビューしたいなどということを書いてありましたが、そういう意味ではこれはだんだん大玉系になっていく、そして海外展開など県のほうでも推進していくということでもあります。そういった意味ではアメリカカンチェリーに対抗できるような品種を開発していきたいというふうな意気込みだというふうにも思っています。我々としても大変そこは賛成でありますし、そういう意味でぜひ県とも協力をしていきたいというふうにも思っていますし、地元にも園芸試験場があるわけでありまして、試験研究ということになればやっぱり人材、そういう施設というものが充実している県の園芸試験場のほうでいただいたというふうにも思っております。さくらんぼのモデル園地というものを整備を市のほうで計画をしているところでもあります。さらには、寒河江市では輸出などについても台湾は3年目を迎えるわけでありまして、これのことしまたオファーがあり

○渡辺けんいち議員

この主体になります。寒河江市にあります園芸試験場というところであります。今、紅秀峰というのがあるというふうな寒河江ではいろんなブランド化を進めておられますけれども、

まして、台湾以外にも持つていくという計画でありますので、そういう意味でぜひこうした輸送の面でのいろんなノウハウも一緒に研究できるように考えております。

●佐藤洋樹市長

雇用の状況としては、定例会冒頭で御報告いたしました。ことし4月のハロワーク寒河江管内の有効求人倍率は0.92倍ということになります。常用における有効求人倍率は西村山郡の0.96倍に対して寒河江市は1.10倍ということと、西村山管内全体では寒河江市が高くなっているというふうな状況でございます。

究でできるかなというふうにも思っているところでもあります。限られた企業誘致、あるいは事業化に向けた支援を寒河江市としても取り組んでいきたいというふうにも考えております。

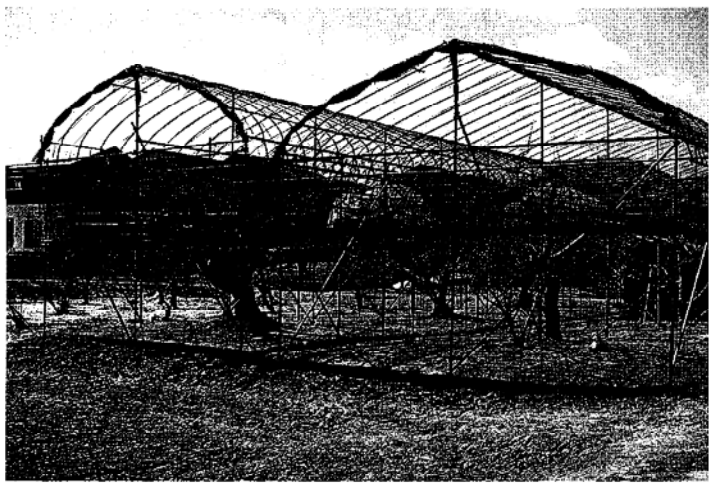
○渡辺けんいち議員

市長もおわかりのとおり、化石燃料と木材では暖かさが違います。その違いをぜひわからない方には広くPRしていただき、またさっき言った農業などへの展開も含めて施策としていただきたいと思っております。よろしくお願ひしたいと思います。

展開させていただいているところでもあります。できる限りそういった企業誘致、あるいは事業化に向けた支援を寒河江市としても取り組んでいきたいというふうにも考えております。

●佐藤洋樹市長

この件については、ことし3月に公表されました平成26年度ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画に関する県民意識調査報告



たきながら、バランスのとれたイベントの開催をお願いしたいと思います。

○渡辺けんいち議員

この主体になります。寒河江市にあります園芸試験場というところであります。今、紅秀峰というのがあるというふうな寒河江ではいろんなブランド化を進めておられますけれども、

○渡辺けんいち議員

その中でも、バイオマスエネルギーなどを利用した持続可能な資源活用企業の誘致を図り、さらに産業界に力を入れていくべきです。寒河江市では輸出などについても台湾は3年目を迎えるわけでありまして、これのことしまたオファーがあり

○渡辺けんいち議員

この件については、ことし3月に公表されました平成26年度ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画に関する県民意識調査報告

書によりますと、育児休業制度の利用者数は48・1%にまだとどまっている低い状況であります。こうした労働関係の各種制度の周知というの、仕事と家庭の調和を図る取り組みを進めていく上では大変重要だといふふうに考えているところであります。現在、女性も男性も働きやすい環境づくりを推進するための山形いきいき子育て応援企業認定制度というのがあります。この認定を受けた企業というのは県内で617あるわけでありますけれども、寒河江市内には34社ございます。中でも日東ベストさんは市内で唯一優秀企業の認定を受けているところでございます。また、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度というものもございまして、山形労働局管内では19社、そのうち市内では株式会社山形富士さんが認定を受けているというよう状況であります。ぜひこうした認定企業の活動というものを市としても大いにPRをして、これらの活動を周知していきたいといふふうに思います。今年度の事業として、企業経営者並びに人事担当者などを対象に女性が輝く職場づくり推進セミナーというものを市で開催させていただきます。各種制度の周知を図るとともに、男女とも育児休業取得率の向上なども含めた職場環境の改善、整備への取り組みの機運醸成を図っていく考えてございます。

●市職員の心身の健康増進並びに労働条件改善に向けて

○渡辺けんいち議員
これについては、ぜひ市長の足元から改善をしていただきたいという趣旨で、時間外勤務の現在の実態、年次有給休暇や夏期休暇などの取得状況などをお聞きしたいと思っております。

平成26年度の状況について御報告申しあげますが、時間外勤務の実施状況については、職員1人当たりの年間平均は51時間であり、また、最も多くの時間外勤務をした職員の年間実施時間数は360時間でございます。年次有給休暇の取得状況については、26年度実績で1人当たり年間平均8.3日、夏期休暇は年間3日間取得することができまふうになっております。

●佐藤洋樹市長
市職員への労働安全衛生の取り組みと心身の健康増進策については、現在、市職員でメンタル疾患により特別休暇などを取得している職員は1人でありますが、当該職員は現在「一試し出勤」を実施中であります。

○渡辺けんいち議員
県では、前知事時代からの行き過ぎた行政改革などによって、大幅な人減らしが進んで、過労死や突然死を含む現職死亡あるいはメンタル疾患で長期病休者が増大しているという実態がございまして。市の職員皆さんの労働安全衛生上、こうした取り組みと心身の健康増進策、今数字はお聞きしたわけですが、まだまだサービス残業とか土日出勤などで振り替えがとれない方など中にはいらっしゃるお聞きしているんですけれども、そうした心身の健康増進策についてどうお聞きしているのかお聞きしたいと思います。

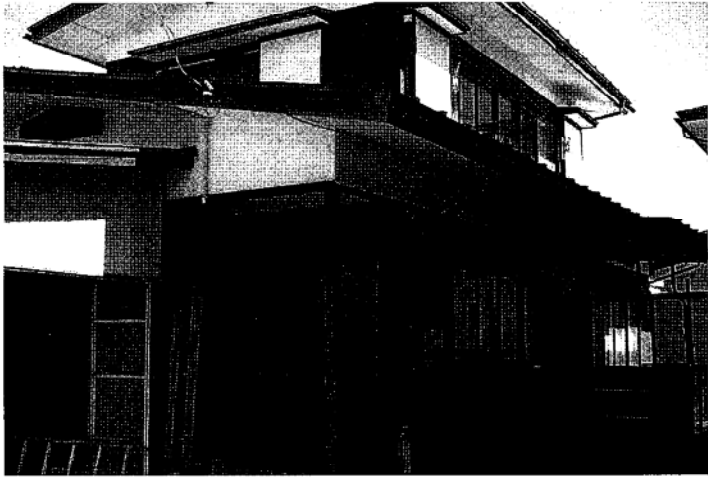
●佐藤洋樹市長
人員配置については、今年度行政改革指針の見直しというものをさせていただくことになっておりますので、今後のそれぞれの業務量の把握、あるいは業務の改善などを行いながら、適正配置を進めていきたいというふうに考えております。それから、時間外勤務の削減については、時間外勤務取扱要綱にのっとり、所属長においては事務量の確かな把握、それから事務の配分などを適正に行うことはもちろんでありますし、また事務処理の合理化及び効率化などについても意を用いて、正規の時間内に業務を処理するよう指導・監督していただくというふうに思っています。

●渡辺けんいち議員
また、職員においても職務を遂行していくに当たって勤務時間内に業務を処理するよう努めていくようにさらにお願いをしたいと思います。やむを得ず休日あるいは時間外に勤務を命じていく場合などにおいても、週休日の振り替えでありますとか、時差勤務などを行って、職員の健康の維持・増進に努めていきたいというふうに考えているところでありまふうに思っています。そのために、人員配置の適正化、時間外勤務削減と年次有給休暇や各休暇の完全取得ができるような職場づくりに配慮すべきだと思っております。いかがでしょうか。

●佐藤洋樹市長
まず、人員配置については今年度行政改革指針の見直しというものをさせていただくことになっておりますので、今後のそれぞれの業務量の把握、あるいは業務の改善などを行いながら、適正配置を進めていきたいというふうに考えております。それから、時間外勤務の削減については、時間外勤務取扱要綱にのっとり、所属長においては事務量の確かな把握、それから事務の配分などを適正に行うことはもちろんでありますし、また事務処理の合理化及び効率化などについても意を用いて、正規の時間内に業務を処理するよう指導・監督していただくというふうに思っています。

●渡辺けんいち議員
また、職員においても職務を遂行していくに当たって勤務時間内に業務を処理するよう努めていくようにさらにお願いをしたいと思います。やむを得ず休日あるいは時間外に勤務を命じていく場合などにおいても、週休日の振り替えでありますとか、時差勤務などを行って、職員の健康の維持・増進に努めていきたいというふうに考えているところでありまふうに思っています。そのために、人員配置の適正化、時間外勤務削減と年次有給休暇や各休暇の完全取得ができるような職場づくりに配慮すべきだと思っております。いかがでしょうか。

3 防災・減災対策と安全安心のまちづくり推進について



●渡辺けんいち議員
このところ豪雪が続いておりまして、除雪費もかなり膨らんでいるとお聞きしております。市内の袋小路には老人世帯が非常に多く住まわれているというふうな状況で、当該地は市道認定のならない私道で、除雪も雪押し場というふうになって、スペース確保が困難なところが多いわけござい

●佐藤洋樹市長
先ほど申しあげましたが、課長会などでも逐次取得状況などを説明して、計画的な業務管理による連続的な業務の取得促進でありますとか、取得しやすい職場環境づくりなどにも意を用いていきたいというふうに考えているところでございます。

●渡辺けんいち議員
また、職員においても職務を遂行していくに当たって勤務時間内に業務を処理するよう努めていくようにさらにお願いをしたいと思います。やむを得ず休日あるいは時間外に勤務を命じていく場合などにおいても、週休日の振り替えでありますとか、時差勤務などを行って、職員の健康の維持・増進に努めていきたいというふうに考えているところでありまふうに思っています。そのために、人員配置の適正化、時間外勤務削減と年次有給休暇や各休暇の完全取得ができるような職場づくりに配慮すべきだと思っております。いかがでしょうか。

●佐藤洋樹市長
御質問にもありましたけれども、固定資産税の減免については地方税法に基づいて市税条例及び市条例規程で規定をしております。現在の内容の中では一つには公益のため直接占有する固定資産というのがあります。除雪作業を進めている状況でございます。高齢者世帯も多いというふうなお話でありましたが、今後ますます高齢者世帯がふえていくということも予想されるわけでありまして、我々としても除雪制度のさらなる充実というものを進めていかなければなりません。除雪というのは言うてみれば一つの災害的な要素が多々あるわけでありまして、災害は何としても克服しなければいけないというふうな思いをしております。さらなる制度の充実、さらに狭い袋小路での雪押し場の確保をするための御指摘の空き地を借り上げるなどの手法などについても、これから検討していきたいというふうに考えております。

●渡辺けんいち議員
空き家・空き地の借上げができませんかというふうな声が出されております。袋小路のところについては、主に私道になっていて、御指摘のとおりであります。私道の除雪については関係者の同意を得て町会長さんなどから申請をいただいております。除雪も雪押し場というふうになって、スペース確保が困難なところが多いわけござい

●渡辺けんいち議員
このところ豪雪が続いておりまして、除雪費もかなり膨らんでいるとお聞きしております。市内の袋小路には老人世帯が非常に多く住まわれているというふうな状況で、当該地は市道認定のならない私道で、除雪も雪押し場というふうになって、スペース確保が困難なところが多いわけござい

●渡辺けんいち議員
現在、袋小路も含め自主防災組織の組織率、あるいは防災訓練が行われたか否かの実績、こうしたものはどうなっているかお伺いしたいと思います。

●佐藤洋樹市長
自主防災組織というのは、地区民の相互扶助の精神に基づいて地区単位で防災活動を行うことによって地震、水害、火災、その他の災害による被害を最小限に食い止め、自分たちの地域は自分たちで守るといふ互助の取り組みを行うという大変重要な組織だといふふうに理解をしております。寒河江市の自主防災組織の整備状況は、平成27年3月現在で62組織となっております。町内会の数で言いますと201町内会のうち142町内会が加入しております。世帯数に対する組織率で言いますと78%ということになっております。ぜひこれを100%を目指して頑張っているところでございます。27年度におけるいろいろな活動状況であります。防災訓練の状況については37組織で実施しております。そのほか、会議、パトロールなどを含めまして41組織で活動を行っております。防災訓練の主な内容については、消火器を使った初期消火訓練、避難訓練、炊き出し訓練、それから防災用機器点検、操作訓練などが多かったと聞いております。これからもぜひ100%を目指しながら、自主防災組織の連絡協議会とい



う組織がありますから、そこを通じて各組織の活動の充実、訓練の実施の呼びかけをさらに進めてまいりたいというふうに考えております。

○渡辺けんいち議員
万一の災害に向けた訓練というものは大事です、市内全域で組織率100%を目指す、市長からありますけれども、ぜひ進めていただきたいと思えます。市民のさまざまな職種の方々からも御協力をいただかないと、これは進んでいきませんので、こういった点についてもぜひよろしくお願ひしたいと思います。

●佐藤洋樹市長
訓練というのは大変大事なわけであり、昨年度各地区的防災訓練には90の町会の方から参加をさせていただきましたが、全体の半分以下という状況であります。ぜひ全地域で防災訓練が実施できるように進めていかなければならぬというふうに思っています。寒河江市では、毎年10月の第一日曜日に寒河江市の防災訓練を持ち回りでさせて

いただいたりしております。今年度は高松地区が会場となっておりますけれども、地元自主防災組織はもちろん参加していただくことになりませんが、各地区的防災訓練の方々からもぜひ見ていただいて、各地区的防災訓練に役立てていただきたいというふうに思っています。そういふところでございます。そういう意味で、寒河江市では各地区的防災研修会、それから防災訓練などの事業に対して補助制度もつくっておりますので、ぜひ多くの方が訓練に参加していただければというふうに思っています。また、その際アドバイザーとする人が、スペシャリストが必要だということであれば、今年度から危機管理室に防災対策専門員というものを配置させていただきますので、スペシャリストとしての訓練へのアドバイザーなどもできるというふうに思っていますので、その訓練の充実にも御活用いただければというふうに思っています。

●佐藤洋樹市長
現在の名簿登録者というのは市内で808名というふうになっております。内訳については、要介護3以上の方と障害者の方がそれぞれ22%、高齢者ひとり暮らしの方が31%、高齢者のみの世帯が25%というふうになっております。御指摘のとおり、各地区的民生児童委員の方、あるいは町内会長さんなどから御協力をいただくと、その方々でももちろん災害時に機能を果たしていただくことにはならない可能性もあるわけであり、そういうことにはなりませんので、そういった場合なども含めて、日ごろから地域の中でお互いが助け合い、いざというときには隣組の皆さんからも協力をしていただくと、ともに助け合い守っていただくという共助の意識を高めていくというふうにしていかなければならないというふうに考えておりますので、そういった我々の活動も進めていきたいというふうに考えております。

●渡辺けんいち議員
現在自己申請となっている災害時要支援者の登録制の現状を、特に一番社会的弱者とされているこの方々の登録状況をお聞きしたいと思います。また、町内会、例えば消防

団とか民生委員の方々だけでは救出するのが非常に困難だという声が出されております。隣組が緊急通報を受けた後の初動訓練、こういったものが非常に大事だと言われていると思います。この体制整備が必要なので、すけれども、市長の御見解をお聞きしたいと思います。

●佐藤洋樹市長
本市では、地域の公民館、以下分館と申しあげますけれども、分館の自主事業及び生涯学習の推進を図るため、分館を整備する場合、公民館整備事業補助金交付規程によりまして補助金を交付しております。補助対象となる事業は、これまでは分館の新築、増築、駐車場舗装などでありましたけれども、平成25年度からは耐震改修を、さらに平成26年度からはバリアフリー改修も補助対象に加えたほか、分館を構成する戸数別に補助率を定め、少ない戸数の分館の負担軽減を図るなど、市民の要望を踏まえて制度の見直しを行ってきただけで、分館の耐震化につきましては、市内61分館のうち耐震化の調査対象となる分館は18分館であり、平成26年度までに全分館で耐震診断を実施しております。全体的に「倒壊する可能性が高い」という耐震基準の観点から、未だに26年度に4分館で耐震改修を実施いたします。来年度も3分館で耐震改修を計画しております。また、バリアフリー改修については、手すりの取り付けや段差の解消、床材の変更、扉の取りかえ、洋式便

器への取りかえなどが対象となるものであります。今年度は2分館で改修予定であり、引き続きそのほかの分館においても本事業を活用し、安全・安心な施設整備を推進していただこうと考えております。

●渡辺けんいち議員
公民館の現状でございま

まず、この労働法制改善に反対の請願が出されているわけですが、人口減にストップをかけ、若者の定住促進、雇用創出や、ひと・まち・しごとの地方創生へのかけ声とは裏腹に、今政府は成長戦略の名のもとに働く者の雇用を脅かすような労働者保護ルールの改悪、解雇ルールや労働時間ルールなどの緩和でありますけれども、これを行おうとしているわけであり、職業を持つ9割が雇用労働者である雇用社会日本において、働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど、決して許されるものではないと思っております。労働者保護を後退させ、格差社会をさらに拡大させるという、こうした動きについては断固反対すべきであり、その趣旨がこの請願に含まれていると思えます。

次に、市民の方々、特に私と同じく親御さんや、あるいは民間の会社で

臨時社員で働いている方、就活している若者から御意見をいただけてきました。まず1つは、正社員である程度の賃金が保障されない程度で、結婚や子供を産み育てるためにはきちんとして正社員、正職員が前提であって、幾ら婚活イベントに来いと言われても、それは絶対無理というふうな声であります。2つ目は、市の直営から指定管理者や独立行政法人、そうした民間営利企業が、残念ながら賃金が下がり、休みもなくなる、同じ職種で首都圏から地元に戻ってきたら、賃金も、そうした条件で働く権利が阻害されていくことになって、私たちが目指していくこの施政方針に合致していません。改悪することに断固反対するとともに、請願の趣旨に賛成をするものでござい

まで、これは全て雇用及び賃金、労働条件の確保が絶対条件ということであり、さて、6月2日の一般質問で、市長よりこれらに関連してバイオマス発電など持続可能な自然エネルギーの活用による企業誘致、育成、農業分野への活用や雇用確保、市の職員の心身の健康を守るための労働安全衛生活動の充実や適正な人員配置と年次有給休暇など計画的な取得促進について前向きな御答弁がありました。したが、これらの法案はこれに逆行するものです。

(中略)

労働者の正社員採用の道がどんどん狭まるような、そうした労働者にとってはますます働きにくくなる、一方で事業主が使い捨て同様なことも可能になっていく法案が議論されているわけです。こうしたことも含めて、私は反対すべきだと思えます。

結びに雇用の確保と働きやすい職場の拡大こそが若者の定住化や地域活性化につながって、ひいては「夢集い人・緑輝くさくらんぼの都市(まち)」をつくることにつながっていくと思えます。残念ながら労働法制改悪によって働きにくくなる、働く権利が阻害されていくことになって、私たちが目指していくこの施政方針に合致していません。改悪することに断固反対するとともに、請願の趣旨に賛成をするものでござい

戦時中は、戦地に送る食糧が最優先されたため、農家は、さくらんぼなどの果樹を伐採させられたこと、長岡山が食糧供給の大根畑・芋畑になったこと、赤松・黒松の燃料にしたことなどを、不幸な歴史も経て、特産地の形成に努力されてきたことを忘れてはなりません。

■非核三原則の遵守、不戦の誓いを新たに、市民の平和な暮らしを守るための「ピースアクション」について(仮称)について

平和都市宣言当時からこれまでの平和行政の取り組みについて

①はじめに
国会では、「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」の2法案「いわゆる戦争法案」が審議されている。衆議院での強行採決がおこなわれ、参議院での審議となっているが、8月30日全国各地での抗議行動では、国会議事堂前の12万人を含め、100万人が結集し反対の声をあげている。9月1日の本市で開催された「戦争法反対 西村山集会」には、200名

以上の方が結集された。市長には、重く受け止めていただきたい。

平和と安全とは全くの命ばかりで、国際平和支援法案は、多国籍軍等の戦争を自衛隊が随時支援できるようにするための恒久法であり、平和安全法制整備法案は、集団的自衛権の行使を可能にするための自衛隊法改正案など10法案を一括したもので、まさに戦争する国づくりのための法整備を目的としたものである。これには、本議会に対し、6月議会に引き続き市民代表から「強行採決などしないで、真摯で慎重に審議すべき」との請願が出されている。

憲法学者や有識者の多くが憲法違反であることを指摘し、立憲主義を無視したもので廃案にすべきである。市民の平和な暮らしを脅かし、戦争への道を突き進むことになり、すくなく育った寒河江の子たちを近い将来、戦場に送ることになる。奨学金返還免除などの経済的インセンティブ(動機)を与えることで自発的主体的に自衛隊員(将来の国防軍)募集に応募するよう仕向ける「経済的徴兵制」が推進される可能性は排除で

市民の皆々への提言

戦後70年の節目にあたる今年度の平和行政推進について

以上の方が結集された。市長には、重く受け止めていただきたい。

平和と安全とは全くの命ばかりで、国際平和支援法案は、多国籍軍等の戦争を自衛隊が随時支援できるようにするための恒久法であり、平和安全法制整備法案は、集団的自衛権の行使を可能にするための自衛隊法改正案など10法案を一括したもので、まさに戦争する国づくりのための法整備を目的としたものである。これには、本議会に対し、6月議会に引き続き市民代表から「強行採決などしないで、真摯で慎重に審議すべき」との請願が出されている。

憲法学者や有識者の多くが憲法違反であることを指摘し、立憲主義を無視したもので廃案にすべきである。市民の平和な暮らしを脅かし、戦争への道を突き進むことになり、すくなく育った寒河江の子たちを近い将来、戦場に送ることになる。奨学金返還免除などの経済的インセンティブ(動機)を与えることで自発的主体的に自衛隊員(将来の国防軍)募集に応募するよう仕向ける「経済的徴兵制」が推進される可能性は排除で

「雇用の安定を求める請願」の賛成討論

まず、この労働法制改善に反対の請願が出されているわけですが、人口減にストップをかけ、若者の定住促進、雇用創出や、ひと・まち・しごとの地方創生へのかけ声とは裏腹に、今政府は成長戦略の名のもとに働く者の雇用を脅かすような労働者保護ルールの改悪、解雇ルールや労働時間ルールなどの緩和でありますけれども、これを行おうとしているわけであり、職業を持つ9割が雇用労働者である雇用社会日本において、働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど、決して許されるものではないと思っております。労働者保護を後退させ、格差社会をさらに拡大させるという、こうした動きについては断固反対すべきであり、その趣旨がこの請願に含まれていると思えます。

次に、市民の方々、特に私と同じく親御さんや、あるいは民間の会社で

市民の皆々への提言

戦後70年の節目にあたる今年度の平和行政推進について

以上の方が結集された。市長には、重く受け止めていただきたい。

平和と安全とは全くの命ばかりで、国際平和支援法案は、多国籍軍等の戦争を自衛隊が随時支援できるようにするための恒久法であり、平和安全法制整備法案は、集団的自衛権の行使を可能にするための自衛隊法改正案など10法案を一括したもので、まさに戦争する国づくりのための法整備を目的としたものである。これには、本議会に対し、6月議会に引き続き市民代表から「強行採決などしないで、真摯で慎重に審議すべき」との請願が出されている。

憲法学者や有識者の多くが憲法違反であることを指摘し、立憲主義を無視したもので廃案にすべきである。市民の平和な暮らしを脅かし、戦争への道を突き進むことになり、すくなく育った寒河江の子たちを近い将来、戦場に送ることになる。奨学金返還免除などの経済的インセンティブ(動機)を与えることで自発的主体的に自衛隊員(将来の国防軍)募集に応募するよう仕向ける「経済的徴兵制」が推進される可能性は排除で

市民の皆々への提言

戦後70年の節目にあたる今年度の平和行政推進について

以上の方が結集された。市長には、重く受け止めていただきたい。

平和と安全とは全くの命ばかりで、国際平和支援法案は、多国籍軍等の戦争を自衛隊が随時支援できるようにするための恒久法であり、平和安全法制整備法案は、集団的自衛権の行使を可能にするための自衛隊法改正案など10法案を一括したもので、まさに戦争する国づくりのための法整備を目的としたものである。これには、本議会に対し、6月議会に引き続き市民代表から「強行採決などしないで、真摯で慎重に審議すべき」との請願が出されている。

憲法学者や有識者の多くが憲法違反であることを指摘し、立憲主義を無視したもので廃案にすべきである。市民の平和な暮らしを脅かし、戦争への道を突き進むことになり、すくなく育った寒河江の子たちを近い将来、戦場に送ることになる。奨学金返還免除などの経済的インセンティブ(動機)を与えることで自発的主体的に自衛隊員(将来の国防軍)募集に応募するよう仕向ける「経済的徴兵制」が推進される可能性は排除で



きないとマスコミでも報じている。この「戦争法案」については、明確に反対を示すべき。「平和首長会議」の一員であられる市長の基本的見解を伺いたい。

②平和行政の取り組みとして

戦後40年の節目を前に制定された本市の平和都市宣言、1984年当時からの30年間の平和行政推進の事業実績について伺いたい。また、看板の設置については、市民が見える方向に向きを変えるべき。

防空壕や戦時中の貴重な資料など歴史的遺産等(いわゆる戦争遺跡、遺品)の保存について

③歴史的遺産等の保存 本市の戦没者追悼式の中で、特攻隊で尊い命を奪われた六供町出身の西長少尉が母に充てて送った「戦地からの手紙」を拝見拝聴した。涙がとまらなかつた。その後遺族に何う機会がありましたか、映画「永遠のゼロ」のような美化したものでないか語っていた。

戦後70年において、戦争を美化したり、風化させたりしてはならないという市民の声が高まっています。

戦後70年を契機に、二度と戦争の過ちや悲劇を繰り返さないため、広く市民の皆さんに貴重な写真や記録などのご提供を求めていますか。

先日に西根地区戦没者追悼式に参加させていただいた。そのあとに、ご遺族の方、日中戦争で戦死された方を西根村の村葬(1939年昭和14年9月9日)の貴重な写真を拝見した。現存している戦争の爪痕、防空壕や戦時中の貴重な資料、遺品など歴史的遺産は市で保存し、市報やさくらんぼ大学などを通じて後世に伝えていくべき。

屋外競技スポーツのさらなる振興と生涯健康長寿社会の充実について

【寒河江公園(長岡山)の都市計画マスタープラン見直しについて】

①寒河江公園再整備計画作成段階において市民から出された意見の件数総数は何件か。パブリックコメント(7件)の内容は公開されていないが、その内容は何か。

【解説】市民からは、夜間照明ひとつにしても「花に光を当てるのも大事だが人間にも当ててくれ」との声が多い。おおよそ1か月だけのイベントに対する不満つつじ園ゾーンだけでなく、花木林(花咲)ゾーンの準備が必要。

②都市公園整備における優先順位については、道路や側溝整備などに準じるのか。

【解説】一般市民には、基準(緊急性・必要性・熟度・効果)について、客観性がなかなか理解されない。年間を通じた魅力ある公園・施設にするための具体策が欠落している。

③その時々状況変化に合わせた、重点プロジェクト事業の見直しを行うべき。

市民のいきいき健康づくりと生涯スポーツの普及について

【市民歩け歩け運動】「市民ラジオ体操」の復活と「市民歌のびのび体操」普及等シニア向け介護予防と心身の健康づくりについて

①これは昭和の東京オリピックを契機に、40年代に国民運動になってきた。現在は、偏った生活や運動不足による生活習慣病が大きな課題である。医療費増大、保険料増額の悪循環にストップをかけるべき。

【健康さがえ21】における運動量増加(プラス1000歩、プラス10分)の数値目標と現状はどうか。市民の心身の健康づくりに対する基本的見解はどうか。

②市民歌のびのび体操、スカット体操は、市民にどれほど認知されているのか。現在、環境音楽しか流れない「防災無線」の活用も視野に取り組みを進めてはどうか。

【解説】市民の皆さんから出された、その他健康づくり具体策について、介護予防先進事例等の検討を要望する。

①地域公共交通の課題でもあるが、路線バスを利用できるのに、バス停のベンチがどこにも設置されていない。出歩かなくなる。運動不足になっている要因。除雪の障害にならないような、妊産婦や高齢者、障がい者向けベンチの設置。

③商品券に替えられるポイント制度の55歳以上への拡大

④美しい景観を眺めて森林浴の運動・寒河江温泉でゆっくり入浴・深い睡眠と休養・地産地消のおいしい食事」のサイクルでの健康づくりをして、「慈恵寺に若返り信仰の参拝」これを商品化すべき

③子どもたちの心的ストレスを解消させ、コミュニケーション能力を育成するためにも地域で「朝のラジオ体操やウォーキング」を復活させてはどうか。

【解説】残念ながらスポーツ人口が一部の愛好家や団体に限られているのが現状。市民の地区運動会やスポーツ大会参加など総合的な参加者も減っていると聞く。青少年の地域参加の機会が激減し、いじめやひきこもり、少年が巻き込まれる事件・事故のニュースが絶えない。市民全体がスポーツを通じて相互の新たな連携を促進させ、世代を超えた交流をさらに深めていくきっかけをつくっていくべき。

【覆たきりゼロ】のため、介護現場における専門トレーナーによる軽体操普及や音楽療法の導入について

①介護メニューの中で特色のある専門トレーニングは行われているのか。

②軽体操、ストレッチ、ヨガなど充実させていくべき。

③他の自治体でも取り入れている専門の音楽療法を導入すべき。

渡辺けんいちの選挙公約 (なべけんマニフェスト)

- ☆TPPに反対し、さがえ独自の農業成長戦略を展開します!
- ☆市民と生命とくらしを守る安全で安心なまちづくりを進めます!
- ☆子育て支援、福祉と介護の充実、健康増進・スポーツの振興を進めます!
- ☆はたらく者の雇用・賃金・労働条件をしっかり守ります!
- ☆平和憲法をまもり、人といのちが輝く未来をきりひらきます!

市民の皆さまのご意見をお寄せください。事務所にもお立ち寄りください。

渡辺けんいち後援会事務所

NABESAPO なべけんサポーターズクラブ

郵便番号 〒991-0003
 住所 山形県寒河江市大字西根 字石川西339-1
 電話番号 (0237) 85-1538
 F A X (0237) 85-1558
 携帯電話 080-3323-1538



「事務所前で毎朝 辻立ちしています!」